

## 水道事業体アンケート

【回答者】市町村名 \_\_\_\_\_ 【回答日】平成 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

事業名 \_\_\_\_\_ 回答者氏名 \_\_\_\_\_

【事業種別】（上水道・簡易水道・専用水道・飲料水供給施設）

※いずれかに○印を記入して下さい。なお、事業種別に関わらず回答が同じ場合は複数に○印を記入して下さい。

### 1. 安全について

#### 1.1 原水水質上の課題について

1) 水道原水の現在の状況について、該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- a. 現状、安定しており、問題なく取水できる。
- b. 原水水質の変動はあるが、既存の浄水処理において対応可能である。
- c. 原水水質が悪化しているときは、活性炭など通常運転で使用しないものを投入し、既存の浄水場で対応している。
- d. 原水調整池によるピークカットや他系統との連絡など、水運用でカバーしている。
- e. 既存施設での対応が困難であり、廃止や水源等の系統の切替えが必要である。

☆上記原水水質において対応に苦慮している水質項目→ ( \_\_\_\_\_ )

(理由) a,b の理由に該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

ア 汚染源の特定や関連機関との連絡、調整体制を整え、水質悪化防止に取り組んでいる。

イ 浄水処理能力が原水水質の変動に対して十分な能力を保有している。

ウ その他 ( \_\_\_\_\_ )

(理由) c~e の理由に該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

エ 大雨など天候に起因し、原水水質が悪化している。

オ 渇水に起因し、原水水質が悪化している。

カ 下水処理施設や工場、畜産業、農業等の人為的理由で原水水質が悪化している。

キ 野生動物の活動の理由で原水水質が悪化している。

ク その他 ( \_\_\_\_\_ )

2) 水源の廃止や系統の切り替えが必要な場合の現在の取り組みは進んでいますか。

a. 進んでいる

b. 進んでいない

(理由) 進んでいない場合の理由について該当する項目に全てレ点を記入して下さい。

ア 短期的ではなく、中長期的な対応を考えている。 → ( \_\_\_\_\_ ) 年程度先を想定。

イ 中長期的な対応を想定しているが、対応は困難と考えている。

→ 理由 ( \_\_\_\_\_ )

ウ 短期的な重要課題であるが、職員人数の不足により対応ができていない。

エ 短期的な重要課題であるが、技術的に対応が困難である。

オ 短期的な重要課題であるが、経済的に対応が困難である。

カ その他の理由 ( )

3) 将来的に管理していくにあたって懸念される水質項目はありますか。

a. ない

b. ある → 水質項目 ( )  
→ 理由 ( )

4) その他

上記に関連する課題や目標、解決策などについて、ご自由にご意見を記載下さい。

## 1.2 取水の確保について

1) 過去10年で、取水困難による減断水が発生したことがありますか。

a. ない

b. ある → 回数 ( ) 回、期間 ( ) 日間  
(理由) 該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

ア 機器、設備の故障

イ 渇水

ウ 水質事故 → 事故内容 ( )

エ 原水水質異常 → 水質異常内容 ( )

オ 水害等の災害 → 災害内容 ( )

カ その他 ( )

2) 減断水はないものの将来的に必要な取水量を確保するために、懸念している事柄はありますか。

a. ない

b. ある

(理由) 該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

ア 地下水位の低下

イ 水需要の増加傾向

ウ 施設、設備の老朽化

エ 水質の悪化傾向 → 水質内容 ( )

オ 災害 → 災害内容 ( )

カ その他 ( )

3) その他

上記に関連する課題や目標、解決策などについて、ご自由にご意見を記載下さい。

1.3 浄水処理上の課題について

1) 浄水水質の現在の状況について、該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- a. 現状、安定しており、問題なく浄水処理ができる。
- b. 原水水質の変動はあるが、既存の浄水処理において対応可能である。
- c. 水質的に対応が困難になってきており、浄水処理機能の増強が必要である。
- d. 量的に対応が困難になってきており、浄水処理の増設が必要である。
- e. 適切に浄水処理が行えないため、統廃合が必要である。

(理由) a,b の理由に該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- ア 日常の点検を適切に行い、浄水処理能力の低下を防止している。
- イ その他 ( )

2) c~e を回答された場合に、現在検討や計画は進んでいますか。

- f. 進んでいる
- g. 進んでいない

(理由) 進んでいない場合の理由について該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- ア 短期的ではなく、中長期的な対応を考えている。 → ( ) 年程度先を想定。
- イ 中長期的な対応を想定しているが、対応は困難と考えている。  
→ 理由( )
- ウ 短期的な重要課題であるが、職員人数の不足により対応ができていない。
- エ 短期的な重要課題であるが、技術的に対応が困難である。
- オ 短期的な重要課題であるが、経済的に対応が困難である。
- カ その他 ( )

3) その他

上記に関連する課題や目標、解決策などについて、ご自由にご意見を記載下さい。

#### 1.4 送水配水系統の水質上の課題について

1) 送配水系統の水質の現在の状況について、該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- a. 現状、安定しており、問題なく送水、配水ができています。
- b. 流向や流速の変化時に一時的に水質悪化が生ずることもあるが、大きな問題はない。
- c. ドレン排水により水質悪化を防止している配水エリアが存在する。
- d. 配管口径が過大であり、流達時間が長く、塩素消費などの課題を抱えている。
- e. 鉛製給水管など、水質悪化の懸念がある管材をまだ使用している。

(理由) a,b の理由に該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- ア 管路の更新が適切に実施され、管内に錆こぶなどが残っていない。
- イ 現状の送配水量に対して、管径が適切に設定され、滞流などの問題がない。
- ウ その他 ( )

2) c~e を回答された場合に、現在検討や計画は進んでいますか。

- f. 進んでいる
- g. 進んでいない

(理由) 進んでいない場合の理由について該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- ア 短期的ではなく、中長期的な対応を考えている。 → ( ) 年程度先を想定。
- イ 中長期的な対応を想定しているが、対応は困難と考えている。  
→ 理由 ( )
- ウ 短期的な重要課題であるが、職員人数の不足により対応ができていない。
- エ 短期的な重要課題であるが、技術的に対応が困難である。
- オ 短期的な重要課題であるが、経済的に対応が困難である。
- カ その他 ( )

3) その他

上記に関連する課題や目標、解決策などについて、ご自由にご意見を記載下さい。

#### 2. 強靱について

##### 2.1 地震に対する対策状況について

1) 地震の対策状況について、該当する項目にレ点を記入して下さい。

- a. 被害想定や対策を十分に行えている。
- b. 被害想定や対策を具体的に計画し、事業を進めている。
- c. 被害想定や対策を具体的に計画しているが、具体的な事業は進んでいない。
- d. 被害想定や対策の具体的な計画はないが、必要な対策を想定している。
- e. 特に被害想定や対策を検討していない。

(理由) c~e の理由に該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- ア 短期的ではなく、中長期的な対応を考えている。 → ( ) 年程度先を想定。
- イ 中長期的な対応を想定しているが、対応は困難と考えている。

- 理由 ( )
- ウ 短期的な重要課題であるが、職員人数の不足により対応ができていない。
  - エ 短期的な重要課題であるが、技術的に対応が困難である。
  - オ 短期的な重要課題であるが、経済的に対応が困難である。
  - カ その他 ( )

2) 地震の応急給水対策について、県の予算補助が必要と感じる項目全てにレ点を記入して下さい。

- f. 応急給水計画立案のための委託費
- g. 管材などの備蓄用資機材費
- h. 資機材を保管する建屋の建設費
- i. 施設の耐震化、緊急遮断弁などの整備費
- j. 耐震性貯水槽や非常用給水設備などの整備費
- k. 給水車や給水資機材（仮設給水栓、ポリタンクなど）の購入費
- l. その他 ( )

3) その他

上記に関連する課題や目標、解決策などについて、ご自由にご意見を記載下さい。

## 2.2 津波に対する対策状況について

1) 津波の対策状況について、該当する項目にレ点を記入して下さい。

- a. 被害想定や対策を十分に行えている。
- b. 被害想定や対策を具体的に計画し、事業を進めている。
- c. 被害想定や対策を具体的に計画しているが、具体的な事業は進んでいない。
- d. 被害想定や対策の具体的な計画はないが、必要な対策を想定している。
- e. 特に被害想定や対策を検討していない。

(理由) c～e の理由に該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- ア 短期的ではなく、中長期的な対応を考えている。 → ( ) 年程度先を想定。
- イ 中長期的な対応を想定しているが、対応は困難と考えている。  
→ 理由 ( )
- ウ 短期的な重要課題であるが、職員人数の不足により対応ができていない。
- エ 短期的な重要課題であるが、技術的に対応が困難である。
- オ 短期的な重要課題であるが、経済的に対応が困難である。
- カ その他 ( )

2) その他

上記に関連する課題や目標、解決策などについて、ご自由にご意見を記載下さい。

2.3 老朽化等による管路の漏水事故状況について

1) 過去5年間の配管事故の発生の状況について、該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- a. 管路の漏水事故は、発生しておらず、特に問題ない。
- b. 管路の漏水事故は、配水支管で発生し、事後保全で十分に対応できている。
- c. 管路の漏水事故は、配水支管で発生し、更新などの対策が必要となっている。
- d. 取水管、導水管、送水管、配水幹線など幹線管路において、事故が発生することがあり、更新などの対策が必要となっている。
- e. 管路の漏水事故が頻発し、対応に追われている。

2) a～b を回答された場合に、漏水事故が少ない理由に該当する項目すべてにレ点を記入して下さい。

- f. 漏水事故の理由を把握し、管路更新などの事業を積極的に進め、改善している。
- g. 過大な水圧がかかる箇所を改善し、水圧の適正化を図っている。
- h. その他 ( )

3) c～e を回答された場合に、対策の検討や計画は進んでいますか。

- i. 進んでいる
- j. 進んでいない

(理由) 進んでいない場合の理由について該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- ア 短期的ではなく、中長期的な対応を考えている。 → ( ) 年程度先を想定。
- イ 中長期的な対応を想定しているが、対応は困難と考えている。  
→ 理由( )
- ウ 短期的な重要課題であるが、職員人数の不足により対応ができていない。
- エ 短期的な重要課題であるが、技術的に対応が困難である。
- オ 短期的な重要課題であるが、経済的に対応が困難である。
- カ その他 ( )

4) その他

上記に関連する課題や目標、解決策などについて、ご自由にご意見を記載下さい。

## 2.4 維持管理状況について

1) 維持管理の現在の状況について、該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- a. 維持管理体制が整い、また、維持管理用のマニュアルや台帳も整理され、水道システムの全プロセスにおいて、施設、設備、管路に対して十分に維持管理を行えている。
- b. 維持管理体制やマニュアル類、台帳は、十分ではないが、維持管理はある程度適切に行えている。
- c. 維持管理体制は十分でなく、主要な施設や主要な系統のみを対象に維持管理を行っている。
- d. 維持管理体制は十分でなく、薬品交換など運転に必要となる最小限のことは実施している。
- e. 維持管理体制は十分でなく、維持管理ができず、不具合発生時の事後保全対応に追われている。

(理由) c～eの理由に該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- ア 構造物や管路を管理する技術者が不足している。
- イ 構造物や管路を管理する技術のノウハウが不足している。
- ウ 機械電気設備の管理や運転管理する技術者が不足している。
- エ 機械電気設備の管理や運転管理する技術のノウハウが不足している。
- オ その他 ( )

2) c～eを回答された場合に、現在検討や計画は進んでいますか。

- f. 進んでいる → 維持管理体制増強は、(直営・広域連携・民間委託)※を考えている。  
※該当項目に○印を記入して下さい。

- g. 進んでいない

(理由) 進んでいない場合の理由について該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- ア 短期的ではなく、中長期的な対応を考えている。 → ( ) 年程度先を想定。
- イ 中長期的な対応を想定しているが、対応は困難と考えている。  
→ 理由 ( )
- ウ 短期的な重要課題であるが、職員人数の不足により対応ができていない。
- エ 短期的な重要課題であるが、技術的に対応が困難である。
- オ 短期的な重要課題であるが、経済的に対応が困難である。
- カ その他 ( )

3) その他

上記に関連する課題や目標、解決策などについて、ご自由にご意見を記載下さい。

## 2.5 漏水調査などの予防保全活動の状況

- 1) 維持管理の現在の状況について、該当する項目全てにレ点を記入して下さい。
- a. 民間委託により、適切に実施し、漏水低減策を講じている。
  - b. 直営により、適切に実施し、漏水低減策を講じている。
  - c. 調査は適切に実施しているが、漏水低減策は、十分にできていない。
  - d. 調査は実施しているが、十分とは言えず、また漏水低減策も、十分にできていない。
  - e. 調査は十分に実施しておらず、事後保全で対応している。

- 2) c～eを回答された場合に、対策の検討や計画は進んでいますか。

- f. 進んでいる
- g. 進んでいない

(理由) 進んでいない場合の理由について該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- ア 短期的ではなく、中長期的な対応を考えている。 → ( ) 年程度先を想定。
- イ 中長期的な対応を想定しているが、対応は困難と考えている。  
→ 理由 ( )
- ウ 短期的な重要課題であるが、職員人数の不足により対応ができていない。
- エ 短期的な重要課題であるが、技術的に対応が困難である。
- オ 短期的な重要課題であるが、経済的に対応が困難である。
- カ その他 ( )

- 3) その他

上記に関連する課題や目標、解決策などについて、ご自由にご意見を記載下さい。

## 2.6 緊急連絡管の状況について

- 1) 緊急連絡管の状況について該当する項目にレ点を記入して下さい。
- a. 近隣事業体や他の配水エリア等と緊急連絡管を結び、ハード面の連携がなされている。
  - b. 具体的な緊急連絡管の計画があり、事業を進めている。
  - c. 具体的な緊急連絡管の計画はあるが、事業として進んでいない。
  - d. 緊急連絡管の構想はあるが、検討、計画が進んでいない。
  - e. 緊急連絡管の検討をしていない。

(理由) c～eの理由に該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- ア 短期的ではなく、中長期的な対応を考えている。 → ( ) 年程度先を想定。
- イ 中長期的な対応を想定しているが、対応は困難と考えている。  
→ 理由 ( )
- ウ 短期的な重要課題であるが、職員人数の不足により対応ができていない。
- エ 短期的な重要課題であるが、技術的に対応が困難である。
- オ 短期的な重要課題であるが、経済的に対応が困難である。
- カ 地形的に緊急連絡管を結ぶことができない。



キ その他 ( )

2) a を回答された場合に、現在の緊急連絡管の状況について該当する項目にレ点を記入して下さい。

- f. 緊急連絡管が結ばれ、必要な管種、口径が確保され、非常時に運用ができる状況にある。
- g. 緊急連絡管は結ばれているが、能力的に必要な水量を供給できるのは、一方向の状況にある。
- h. 緊急連絡管は結ばれているが、能力的に必要な水量を供給できない状況にある。
- i. 緊急連絡管は結ばれているが、他にも連絡が必要で、連絡可能なエリアがある。

3) その他

上記に関連する課題や目標、解決策などについて、ご自由にご意見を記載下さい。

## 2.7 緊急協力体制の状況について

1) 緊急協力体制の状況について該当する項目にレ点を記入して下さい。

- a. 近隣事業体と緊急協力体制を結び、十分に連携がなされている。
- b. 具体的な緊急協力体制構築の協定はあり、事業を進めている。
- c. 具体的な緊急協力体制構築の協定はあるが、事業として進んでいない。
- d. 緊急協力体制構築の希望はあるが、検討が進んでいない。
- e. 緊急協力体制構築の検討をしていない。

(理由) c~e の理由に該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

ア 短期的ではなく、中長期的な対応を考えている。 → ( ) 年程度先を想定。

イ 中長期的な対応を想定しているが、対応は困難と考えている。

→ 理由 ( )

ウ 短期的な重要課題であるが、職員人数の不足により対応ができていない。

エ 短期的な重要課題であるが、近隣事業体との関係性により対応困難である。

オ 短期的な重要課題であるが、近隣事業体との検討の場がなく対応困難である。

カ その他 ( )

2) 現在の緊急協力体制の状況について該当する項目にレ点を記入して下さい。

- f. 近隣事業体と緊急協力体制を構築し、非常時に協力できる状況にある。
- g. 管工事業協同組合と緊急協力体制を構築し、非常時に協力できる状況にある。
- h. 設備維持管理業者と緊急協力体制を構築し、非常時に協力できる状況にある。
- i. 日本水道協会と緊急協力体制を構築し、非常時に協力できる状況にある。
- g. 給水タンク運搬用にトラック協会と緊急協力体制を構築し、非常時に協力できる状況にある。

- k. その他の緊急協力体制を構築している。  
→ 具体的内容( )

3) その他

上記に関連する課題や目標、解決策などについて、ご自由にご意見を記載下さい。

### 3.持続について

#### 3.1 技術継承の状況について

1) 技術継承の状況について、該当する項目にレ点を記入して下さい。

- a. 教育訓練を実施し、業務マニュアルも整備され、技術継承が十分行えている。
- b. 業務マニュアルは整備されていないが、教育訓練を実施し、技術継承を行えている。
- c. 熟練技術者が3年から5年で退職するため、技術継承が必要であるが、教育訓練などに取り組めていない。
- d. 熟練技術者が退職し、技術継承を行う人材の確保が困難である。
- e. 職員数が不足し、技術継承を行う時間的余裕がない。

2) c～e を回答された場合に、技術継承が必要となる分野に該当する項目にレ点を記入して下さい。

- f. 日常の土木構造物、配管の点検のための技術継承が必要である。
- g. 日常の機械電気設備の点検のための技術継承が必要である。
- h. 運転管理における技術継承が必要である。
- i. 危機管理における技術継承が必要である。
- j. 経営計画や施設整備計画など計画系業務の技術継承が必要である。
- k. 営業などの事務関係の業務継承が必要である。

3) c～e を回答された場合に、対策の検討や計画は進んでいますか。

- l. 進んでいる
- m. 進んでいない

(理由) 進んでいない場合の理由について該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

ア 短期的ではなく、中長期的な対応を考えている。 → ( ) 年程度先を想定。

イ 中長期的な対応を想定しているが、対応は困難と考えている。

→ 理由 ( )

ウ 短期的な重要課題であるが、職員人数の不足により対応ができていない。

エ 短期的な重要課題であるが、技術的に対応が困難である。

オ 短期的な重要課題であるが、経済的に対応が困難である。

カ その他の理由 ( )

4) その他

上記に関連する課題や目標、解決策などについて、ご自由にご意見を記載下さい。

3.2 簡易水道事業における全ての年齢別職員数を回答ください（H29 末値）。

年齢	～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～60	61～
事務職									
技術職									
検針職									
集金職									
臨時職									
嘱託職									
技能職・ その他									

3.3 財政収支の見通しについて

1) 今後 10 年程度の財政収支見通しについて、該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- a. 財政収支は悪化すると感じている。
- b. 水道料金の値上げが必要だと感じている。
- c. 当面は問題ない。

2) a を回答された場合に、そのように感じる要因に該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- ア 更新事業への対応
- イ 料金収入の減少
- ウ 簡易水道統合
- エ 地震対策
- オ その他（ ）

3.4 資産管理の状況について

1) 資産管理の状況について、該当する項目にレ点を記入して下さい。

- a. 施設や設備、管路の管理台帳は、適切に整備され、現場と整合が概ね図られている。また、固定資産台帳も適切に整備され、管理台帳と固定資産台帳との整合も概ね図られ、日常の管理や経営計画に活用している。
- b. 管理台帳と固定資産台帳との整合は図られていないが、各々の台帳が整備され、管理台帳は、現場と整合が概ね図られている状況にある。
- c. 管理台帳と固定資産台帳は、整備されているが、現場との整合や管理台帳と固定資産台帳との整合は図られていない。
- d. 管理台帳と固定資産台帳のいずれかが整備されていない。
- e. 管理台帳や固定資産台帳は整備されておらず、資産状況が不明である。

2) c～e を回答された場合に、台帳整備の検討は進んでいますか。

- a. 進んでいる

b. 進んでいない

(理由) 進んでいない場合の理由について該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

ア 短期的ではなく、中長期的な対応を考えている。 → ( ) 年程度先を想定。

イ 中長期的な対応を想定しているが、対応は困難と考えている。

→ 理由 ( )

ウ 短期的な重要課題であるが、職員人数の不足により対応ができていない。

エ 短期的な重要課題であるが、技術的に対応が困難である。

オ 短期的な重要課題であるが、経済的に対応が困難である。

カ その他の理由 ( )

3) その他

上記に関連する課題や目標、解決策などについて、ご自由にご意見を記載下さい。

3.5 施設統廃合の状況について

1) 水需要の減少などを考慮した施設統廃合の状況について、該当する項目にレ点を記入して下さい。

a. 各系統間や近隣市町村との統廃合に取り組んでいる。

b. 各系統間や近隣市町村との統廃合を具体的に計画し、事業を進めている。

c. 各系統間や近隣市町村との統廃合を計画しているが、事業は進んでいない。

d. 各系統間や近隣市町村との統廃合を希望しているが、検討が進んでいない。

e. 各系統間や近隣市町村との統廃合の検討をしていない。

(理由) c～e の理由に該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

ア 短期的ではなく、中長期的な対応を考えている。 → ( ) 年程度先を想定。

イ 中長期的な対応を想定しているが、対応は困難と考えている。

→ 理由 ( )

ウ 短期的な重要課題であるが、職員人数の不足により対応ができていない。

エ 短期的な重要課題であるが、技術的に対応が困難である。

オ 短期的な重要課題であるが、経済的に対応が困難である。

カ その他 ( )

2) その他

上記に関連する課題や目標、解決策などについて、ご自由にご意見を記載下さい。

3.6 水道未普及地域の解消状況について

1) 水道未普及地域の状況について、該当する項目にレ点を記入して下さい。

- a. 水道未普及地域の解消に取り組み、普及拡大に努めている。
- b. 水道未普及地域に対し、運搬給水などの多様な給水形態が確立している。
- c. 水道未普及地域解消の具体的な計画はあるが、事業は進んでいない。
- d. 多様な給水形態の検討は行っているが、事業は進んでいない。
- e. 水道未普及地域の解消や多様な給水形態確立の検討をしていない。

(理由) c～eの理由に該当する項目全てにレ点を記入して下さい。

- ア 短期的ではなく、中長期的な対応を考えている。 → ( ) 年程度先を想定。
- イ 中長期的な対応を想定しているが、対応は困難と考えている。  
→ 理由 ( )
- ウ 短期的な重要課題であるが、職員人数の不足により対応ができていない。
- エ 短期的な重要課題であるが、技術的に対応が困難である。
- オ 短期的な重要課題であるが、経済的に対応が困難である。
- カ その他 ( )

2) その他

上記に関連する課題や目標、解決策などについて、ご自由にご意見を記載下さい。